

北海道科学大学では昨年度に引き続き全15回の公開講座を開催します。北海道薬科大学との統合により新設された薬学部をはじめ、工学部、保健医療学部、未来デザイン学部、短期大学部、全学共通教育部が、各公開講座を担当します。

都市

明日は我が身！積雪期の防災を考える。

都市環境学科 細川 和彦 准教授

2018年11月14日(水) 10:40～12:30

北海道科学大学 A棟 A106 教室

定員
先着50名

上靴を持参
してください

“対岸の火事”ではなくなった震災。そして、40時間のブラックアウト。この災害から私たちは何を学びましたか？この地震がもし、真冬の札幌で発生していたら、自分自身そして家族の命を守り切ることができたでしょうか？「雪害」という毎年決まった時期にもれなくやってくる災害と突如襲ってくる「火災、震災」。この複合災害の危機をどう予防し、乗り切れば良いか。皆さんと一緒に考えたいと思います。

講演後、北海道胆振東部地震の際、避難所となった本学体育館の見学ツアーと非常食体験を予定しています。

看護

災害時の健康管理・感染症対策

看護学科 秋原 志穂 教授

2018年11月27日(火) 13:00～14:00

北海道科学大学 A棟 A308 教室

9月6日未明に北海道で震度7の大地震が発生し、札幌でも最大震度6弱を観測しました。災害大国日本では、大規模地震やその他の自然災害はいつ起こるのかわかりません。今後、これ以上の災害が起きたとき、避難所での生活を余儀なくされたとき、私たちはできるだけ自分の健康を自分で守らなければなりません。

本講義では、災害時に発生しやすい感染症とその対策および健康管理に必要な知識等について説明します。

診療

医療情報から見るこれからの医療

診療放射線学科 谷川 琢海 准教授

2018年11月29日(木) 13:00～14:00

北海道科学大学 A棟 A308 教室

診療録(カルテ)がコンピュータによって作成されるようになり、医療における様々な診療情報は電子的に取り扱うことができるようになりました。これまでの病院・診療所のなかでの利用に加えて、地域での医療情報連携、匿名化処理されたデータの研究用途での活用などが模索されています。

今回は医療情報の活用によって今後期待されること、そのなかで皆さんが気をつけるべきことについてご紹介します。

■申込 ①氏名 ②電話番号 ③参加希望講座名 を電話 011-676-8664 またはメール (chiiki@hus.ac.jp) でお知らせください。

北海道科学大学
だより

2018年

10月号

<https://www.hus.ac.jp/>



北海道科学大学

北海道科学大学短期大学部

+Professional (2018年 北海道薬科大学と統合)

お問い合わせ 011-676-8664
E-mail chiiki@hus.ac.jp

北海道科学大学 地域連携・広報課

〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

TEL: 011-676-8664 FAX: 011-688-2392 HP: <https://www.hus.ac.jp/>